

平成30年度 須田小学校 グランドデザイン

「あたりまえ」を「あたりまえ」にできるようにする学校づくりを目指す

そのためには、「あたりまえ(思い込み)」を見直し、指導内容の絞り込み(焦点化)・具体的な取組内容(視覚化)・家庭との連携(共有化)を重視し、「できるまでする」校内体制で臨む。

校内の指導体制も「対話のある学び部」と「健やかな体づくり部」の2つに整理統合した。

授業づくりを核に、日々の指導の積み重ねを大切にする。

★子供に身に付けさせたい根っこの力は「多様な考えに気付き発信する力」

「いつでも・どこでも・だれとでも」対話を通して、「～と思っていたけど～だ」という複数の考え方を取り入れた考え方ができる子供の育成を目指す。

そのための学習の場として「ふるさと・須田」学習を設定する。「あたりまえ」のように生活する場の中から、「あたりまえではない」工夫や努力、そしてアイデアを発見できるからである。

本年度は、道徳の学習と関連付けた、生活科・総合的な学習の学習づくりを行う。

健やかな体づくり

体幹力を生むスキルの指導

体幹力

筋力

投力

持久力

走る・握る・投げる・支える
の要素を組み合わせた運動
日常的な正しい姿勢

+

生活リズムを生む時間活用力の育成

時間編集力

行動選択力

(隙間時間の利用) (段取り)

生活リズムでメディアコントロール
生活実践力を高める保健指導

対話のある学び

対話を生むスキルの指導

意見 「私は～です」

例示 「例えば～」

理由 「理由は～です」

一般化 「つまり～」

対話を構成する『4つの言葉』
書く「対話スキル」の指導
対話に足りない言葉を訊く姿勢

+

対話を生む人間力の育成

声力



呼应

(声量・テンポ) (笑顔・相づち)

対話を豊かにする『2つの力』
子供の考えをつなぐ授業づくり

教育環境の整備

● 日常的な運動の場づくり

- ・ がんばりタイム(走・跳)や
ドッジボール大会(筋・投)の実施
(朝と帰りの会のグーパー体操の継続)
- ・ 「走」環境の整備
(地内の空き空間を活用したコース)

● よりよい行動を見付ける指導

- ・ 「須田小アンテナ」(人間関係指導指針)
- 感謝と余裕の気持ちで行動
・ 「笑顔でペこり」(全校交通安全運動)

● 伝える言葉を広げる場作り

- ・ 須田小「本の海」図書館の整備
- ・ 低100冊、中60冊、高40冊以上の
多読指導

● 基礎と活用をつなぐ組み合わせ学習

- ・ WEB問題を授業や須田っ子検定に活用
- ・ 学習内容を組み合わせて作る家庭学習
(4年生以上)

